

能勢妙見山 ガイドマップ



- 能勢妙見山縁起 -

能勢妙見山は関西随一の日蓮宗霊場で、開運北辰妙見大菩薩を祀る。天平勝宝年中（紀元 750 年頃）に行基菩薩の開闢をもってその始まりと伝えられている。のち旧領主能勢家の鼻祖源満仲公（清和天皇の孫経基親王の嫡子）が家鎮として鎮宅靈符神（妙見大菩薩の道教での称）を祀り、能勢家代々に伝えられた。慶長 5 年（1600）23代頼次公は日蓮宗総本山身延山久遠寺第 2 1 世寂照院日乾上人に帰依して法華経信仰を深め、これにより家鎮である鎮宅靈符神も日乾上人によって改めて法華経勧請し妙見大菩薩として当山に祀られ今日に至っている。現在開運殿に祀られる御尊像は、日乾上人の創案にかかる御自刻のもので、右手に受け太刀左手に金剛不動の印を結ぶ尊容は能勢妙見独特のものである。こののち明和 5 年（1768）3 月 16 日に女人禁制が解かれ、安永 2 年（1773）には内拝が許され、以後妙見大菩薩の靈験を得ようと京阪の大衆が殺到したという。能勢の妙見詣りを題材にした上方落語『無精の代参』も、このような能勢妙見山への庶民の熱烈な信仰を背景として生まれたものという。

1. 鳥居

境内に鳥居や狛犬がありますが、妙見山は日蓮宗のお寺で、眞如寺の飛び地境内となっています。正式には「無漏山眞如寺境外仏堂能勢妙見山」といいます。鳥居は聖域を示すものです。

2. 神馬

馬は妙見大菩薩の眷属であり、また武士にとって大切な乗り物でした。神馬は武士の姿をした妙見大菩薩に乗っていただきたいと奉納されたものです。

3. 能勢頼次公銅像

能勢妙見山を基を開いた能勢頼次公は、一時期滅びた能勢家を再興させた人として知られています。

4. 祥雲閣・位牌堂

開基 能勢家報恩記念の建物ですが、現在は永代供養の位牌堂として、ご信者様のお位牌をお祀りしております。

5. 開運殿（本殿）

開運の守護神である北辰妙見大菩薩が祀られ、終日ご祈祷等がなされます。能勢頼次公によって草創され、開運殿と称されます。天明7年(1787)能勢頼直公の本願によって再建、明治28年(1895)11月に大改修され現在に至ります。随所に施された彫刻が目をはびきます。

6. 祖師堂

棲神殿と称されます。須彌壇上には本尊久遠実成本師釈迦牟尼仏、多宝如来、普賢・弥勒菩薩、不動・愛染明王、四天王などが祀られ、中央には宗祖日蓮大聖人、向かって左には当山開山日乾上人が祀られています。

7. 浄水堂

「妙」は美しい、「見」は姿。すなわち「美しい姿」ということから江戸時代より役者など芸能人の信仰が篤く、柱には「四代目中村歌右衛門」の銘があり、ここは歌右衛門の浄水とも呼ばれます。なお「三代目中村歌右衛門」も本殿の燭台を寄進しております。

8-1. 経堂

能勢頼直公の建設による。経堂では常経（毎日9時半・11時・14時・16時に読経）が行われます。

8-2. 絵馬堂

願いをこめて絵馬を奉納することができます。昔は

本当の馬が寄進されましたが、簡素化されて絵馬を奉納することようになりました。

9. 寺務所・庫裡・祈祷待合所

寺務所ではご祈祷、ご回向、および各種お守りの授与を受けついています。ご祈祷・ご回向を申し込まれた方は隣の祈祷待合所にてお待ちいただけます。

10. 鐘楼・梵鐘

梵鐘の高さは約150センチ、直径約75センチ、厚さは8センチ。

11. 日蓮大聖人銅像

日蓮宗の開祖、日蓮大聖人の銅像です。

12. ブナ林

大阪府指定の天然記念物、ならびに兵庫県川西市指定の天然記念物。ブナは一般に1000メートル以上の山に生育するため、660メートルの妙見山での生育は珍しいとされています。

13. 山門

大阪府能勢町と兵庫県川西市の府県境に建ちます。

14. 星嶺

信徒会館「星嶺」は星降りの伝説を象徴する建物で、参詣者の心のふれ合いの場として、平成10年4月に建てられました。2階礼拝堂はご本尊の世界を体感できる新しい宗教空間として注目されています。設計は京都大学教授の高松伸先生で、信仰のルーツである「星」と能勢家の紋章である「矢筈」をモチーフにデザインされています。

15. 宝物館

能勢頼次公の鎧・弓矢・掛け軸・古文書等の文化財を保管。毎年10月22日～24日まで宝物公開展示がおこなわれ拝観できます。

16. 彰忠碑・山上三角点

彰忠碑は日清・日露戦争での戦没者慰霊塔。彰忠碑の後ろに三角点があります。

17. 日乾上人銅像

日乾上人は能勢頼次公の願いにこたえて能勢に身を寄せ、法華経の教えを説き広めることに尽くされた方です。